



NEWS RELEASE

2019年1月10日
東ソー株式会社

バイオベンチャーの「Semba Biosciences, Inc.」へ出資 ～バイオ医薬品の連続製造ソリューションの提供～

東ソーは、バイオサイエンス事業の強化・拡大の一環として、米国のバイオベンチャー企業「Semba Biosciences, Inc. (以下、Semba社)」の増資を引き受け、同社へ出資しましたのでお知らせいたします。なお、本出資は当社の米国子会社Tosoh Bioscience LLC社(本社：米国ペンシルベニア州、出資比率：100%)を通じて行っております。

昨今、市場の成長著しいバイオ医薬品の製造では、精製工程においてバッチ方式による生産が主流となっておりますが、需要変動に対する柔軟性や生産性に優れたプロセスの構築が課題となっております。その解決策として注目されている技術の一つが、従来方式と比べて高生産性かつ低コストといった特長を有する連続クロマトグラフィー^(※1)方式であり、また、医薬品製造の連続プロセス化を米国食品医薬品局(FDA)がメーカーに推奨していることから、今後、従来方式に代わり主要な技術・市場に成長することが見込まれております。

Semba社は、2009年に世界初の卓上タイプの連続クロマトグラフィー装置Octave[®]を上市し、近年、バイオ医薬品の開発用連続クロマトグラフィー装置ProPD[™]を市場投入し、製造用連続クロマトグラフィー装置ProGMP[™]の製品化を進めております。

当社は、今回の出資によりSemba社との連携を強化し、液体クロマトグラフィー用分離剤(トヨパール[®])事業とのシナジー効果を狙うと共に、今後も周辺分野へ展開することで、バイオ医薬品精製のトータル・ソリューション・プロバイダーを目指してまいります。

【Semba Biosciences, Inc. 社の概要】

設 立：2005年5月

出資比率：当社グループ33.3% (完全希薄化後ベース)

所 在 地：米国ウィスコンシン州マディソン

事業内容：クロマトグラフィー装置およびバイオ関連試薬の製造・販売

※1：連続クロマトグラフィー

複数のカラムを組み合わせ、試料・溶離液・洗浄液等の流れをバルブ操作で自動制御することにより、吸着・溶出・カラム洗浄等のプロセスを並行して連続的に行う液体クロマトグラフィー手法。

以 上

東ソー株式会社 広報室

東京都港区芝3-8-2 〒105-8623
TEL 03(5427)5103 FAX 03(5427)5195
<http://www.tosoh.co.jp>